

令和 3 年 第 2 回
京田辺市議会定例会

一般質問(質問項目・要旨)

傍 聴 用

京 田 辺 市 議 会

6月定例会一般質問日程

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
6月11日 (金)	1	か わ だ み ほ 河 田 美 穂 (公 明 党)	1
	2	お か も と り ょ う い ち 岡 本 亮 一 (日本共産党京田辺市議会議員団)	2
	3	お か じ ま か ず あ き 岡 嶋 一 晃 (自 民 一 新 会)	4
	4	あ お き こ う じ ろ う 青 木 綱 次 郎 (日本共産党京田辺市議会議員団)	6
	5	な ん ぶ と し こ 南 部 登 志 子 (無 会 派)	7
6月14日 (月)	6	む こ う が わ ひ ろ し 向 川 弘 (公 明 党)	8
	7	え の も と こ う す け 榎 本 昂 輔 (自 民 一 新 会)	9
	8	な が た か ず や 長 田 和 也 (N E X T 京 田 辺)	10
	9	よ し た か ゆ か こ 吉 高 裕 佳 子 (市民とともに歩む女性議員の会)	12

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
6月15日 (火)	10	はしもとよしゆき 橋 本 善 之 (自 民 一 新 会)	13
	11	ますとみり つ こ 増 富 理 津 子 (日本共産党京田辺市議会議員団)	14
	12	かたおかつとむ 片 岡 勉 (NEXT京田辺)	15
	13	つぎたのりこ 次 田 典 子 (市民とともに歩む女性議員の会)	17

※質問時間は、質問答弁併せて60分以内としていますが、今議会におきましては申し合わせにより概ね50分とさせていただきます。

1 新型コロナウイルスワクチン接種をスムーズに行うための改善策は

- (1) 市として改善をどのように考えているのか。
(予約のとりかた、個別接種、接種場所の拡充 (大学など)、市民への
広報のあり方など)
- (2) キャンセルなどで、ワクチンが廃棄されない対策は。
(キャンセル待ちリストなど)

2 いのちを守る政策について

- (1) コロナ禍の対策としての、避難所運営訓練をすべき。
(防災士の研修・活動の場を、職員実地訓練など)
- (2) 備蓄品の拡充を。
(ローリングストック、流通備品の考え方は)
- (3) 公共施設入口等に、A I 検温モニターを設置すべき。

3 奨学金返還支援事業の推進について

- (1) 全国で広がる奨学金返還支援事業について見解を問う。
- (2) 奨学金返還支援事業実施についての考えは。

1 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルスの「第4波」となる感染拡大がきわめて深刻な事態となっている。また変異株が猛威をふるい医療崩壊が起こり、暮らしと営業も深刻である。

これまでと同じ対策の延長線上では、新型コロナウイルスを封じ込めることはできない。ただちに、以下の対策を実行することを求める。

(1) ワクチン接種について

ア ワクチン接種の体制と現在の状況は。

イ 受付方法やキャンセル分の活用方法、情報提供など、今後の課題と対策は。

ウ ワクチンの安全・迅速な接種のために、実態に即したロードマップを示すとともに、ワクチン接種を行う自治体への支援を国へ求めよ。

(2) 社会的検査を拡充し、大規模検査で感染を封じ込める対策について

ア 無症状の感染者、初期症状感染者をいち早く発見、保護するために大規模なPCR検査をすすめるとともに、高齢者施設や福祉施設、幼稚園、保育所、各学校の職員などを対象に頻回・定期的に検査すべき。また、そのための財政支援を国に求めるとともに、市独自でも実施すべき。

イ 上記のようなクラスターになりやすい場所において、抗原検査キットをPCR検査と組み合わせて活用することを求める。

(3) 十分な補償と生活支援について

休業要請や時間短縮営業の要請などで経済的影響が出ている中小業者に対して、市独自の固定費補助の実施をはじめ、国に対し2回目の持続化給付金などを実施するよう求めよ。また、生活困窮者への支援の強化を。

2 子育て支援医療費助成制度の拡大について

- (1) 本市の子育て支援医療費助成制度は、中学校卒業まで医療費が無料(自己負担額1医療機関1か月につき200円)となっているが、同制度の果たす役割について、市の認識を問う。
- (2) 子育て世代の経済的な負担軽減や、安心して子育てができる支援策として大きな役割を果たしている同制度を、高校卒業まで拡充すべきと考えるがどうか。

3 交通安全対策について

田辺中学校の自転車通学生徒が年々増加している。その現状を踏まえ、以下の点を問う。

- (1) 三山木小・普賢寺小学校区から田辺中学校へ自転車通学している生徒の多くは、府道八幡木津線を通学路としている。道路幅員も狭く重大事故につながる危険性が高いと考えるが、市の認識を問う。
- (2) 自転車通学の交通事故防止対策の取り組みについて問う。

1 避難情報と避難所について

- (1) 内閣府より令和3年5月20日から、避難情報のうち避難勧告が廃止され、避難指示の一本になった。従来の避難勧告では避難しない人が多かったのと、避難情報は分かりにくく判断を誤るとの認識からの改正だと考えるが、市の見解と対応を問う。
- (2) これにより、住民にはより早い避難が求められ、市には従来に比べ避難行動を促す伝達方法が求められると考えるが、市の考えを問う。
- (3) この改正により、避難所に多くの人が避難してきた場合の収容数をいかに考えているのか、また、収容しきれなかったときの判断と対応を問う。

2 新型コロナウイルスワクチン接種の受付方法と集団接種について

- (1) 新型コロナウイルスワクチン接種の65歳以上の電話による受付で、各方面から電話がつながらないと言う苦情や問い合わせが多かった。このことを踏まえ、今後65歳未満の住民の接種が始まった場合の対応をどのように考えているのかを問う。
- (2) 京都府は、亀岡市と精華町に集団接種会場を設けると発表した。また、国は大阪府に大規模集団接種会場を設けることを決定した。京都府民は、どの会場でも接種が受けられる体制となるが、既に本市で受付された方がキャンセルせずにダブルブッキングをした場合、市としてはどのように対応するのかを問う。
- (3) 政府は、65歳以上の集団接種の完了に対し、令和3年7月末を目標とするとの見解を出したが、報道の調査で、本市は「回答できない」との見解が出されたが努力した上での見解なのか、また何がネックとなっているのか市長の考えを問う。

3 資源物等持ち去り行為に対する規制について

- (1) 「京田辺市廃棄物の減量及び適正処理の促進に関する条例」の一部改正が、令和3年3月定例会に上程され、全員賛成で可決された。この条例は令和3年7月1日から施行されるが、市民や持ち去り行為をする人に対し、今までどのような周知をしたのか。
- (2) 今回の改正では、公表規定や罰則規定が追加されたが、法的根拠や法的手続きはどのようなものになるのか、また警察との連携について問う。
- (3) 条例の効果には限界があると考えるが、今後どのように対応していこうと考えているのかを問う。

4 教育ICT環境と教育について

- (1) G I G Aスクール構想が前倒しとなり、昨年度に児童一人一台のタブレット端末が配備され本年度より本格的な運用が開始されたが、現状の活用状況を問う。
- (2) 端末一人一台の環境下で、カリキュラムや学び方に変化が現れたかのかを問う。
- (3) 端末一人一台の環境での学習のポイントや教育方針を問う。
- (4) 先ごろ、児童の各家庭に対し、「インターネットやW i - F i環境、家庭で児童が自由に使えるパソコンやタブレットはあるか」などのアンケートがあったが、臨時休校に対応するためのリモート授業の実現性を調査するためだと考えるが、その結果はどのようなものか問う。
- (5) また、環境が整っていない家庭に対し、市はどのような対応を取ろうとしているのかを問う。

1 京田辺市立幼稚園・保育所再編整備計画案について

- (1) 公立幼稚園の集団規模と、統合についての考え方とその具体的な適用について。
- (2) 松井ヶ丘幼稚園の今後の見通しについて。
- (3) 京田辺市における公立幼稚園の意義と、果たしてきた役割についての教育委員会の考えを明らかにされたい。
- (4) 「幼小接続カリキュラム」について、これまでの市の取り組み内容とその評価について、明らかにされたい。
- (5) 保育所待機児の解消について
 - ア 2017～21年度の、各年度当初の待機児数と、年度途中の待機児数を明らかにされたい。
 - イ 2019～21年度の、保育所入所申込みをしながら、保育所入所に至らなかった子どもの数と、その理由を明らかにされたい。
 - ウ 年度途中も含めて待機児を生じないための方針を明らかにされたい。
- (6) 市立幼稚園・保育所再編整備計画案に対するパブリックコメントの概要、及び住民説明会で出された意見などに対する市の考えなど、明らかにされたい。

2 学校体育館へエアコンの設置を

政府は「緊急防災・減災事業債」制度の5年間の延長を決定した。同制度を利用し、市内すべての小・中学校の体育館にエアコンの設置を求める。

1 新型コロナウイルス感染症の影響と対策及びワクチン接種について

- (1) 本市での感染の特徴（感染経路、変異株の割合、重症化率、死亡者数含む）とその対策について問う。
- (2) 市財政や市事業への影響と今後の見通し、対策について問う。
- (3) 市内業者や市民生活への影響（失業・廃業・休職・生活保護申請者数など）と今後の見通し、対策について問う。
- (4) 医療・介護従事者、教員や保育士、消防士等に対して、定期的なPCR検査の実施と早期のワクチン接種を求める。
- (5) ワクチン接種の意思表示ができない方への接種はどうするのか。また、外国人居住者への接種案内はどうするのか。
- (6) 市長や議員、特別職の報酬の削減を求める。

2 大雨被害と今後の対策について

- (1) 先日の大雨被害の状況について問う。
- (2) 土砂災害警戒区域や被害を繰り返す箇所への対策は。

3 中心市街地の整備について

- (1) 公共施設の移転や新設については、どのように検討されるのか。
- (2) 近鉄新田辺駅東地区の活性化に向けての取り組みの現状について問う。

1 結婚・子育て支援について

- (1) 新婚世帯への補助金等実施の考えを問う。
- (2) 「はぐはぐ赤ちゃん応援事業」及び令和2年度10号補正予算「母子健康推進費」の進捗状況、実績を問う。

2 家族・親族が亡くなった後の手続きにおける遺族の負担軽減について

- (1) 家族・親族が亡くなった後の各種手続きをワンストップで相談できる、おくやみコーナー受付窓口、あるいはブース等を設置する考えを問う。
- (2) 予約制や手続きの簡素化等による遺族の負担軽減の考えを問う。

3 デジタル活用について

- (1) 高齢者へのスマートフォン講習会等の実施計画を問う。
- (2) 感染症等による学年・学級閉鎖時及び不登校児童・生徒等のリモート学習実施の考えを問う。

1 ふるさと納税寄附金額増収戦略について

- (1) 今年度の取り組みについて問う。
- (2) 新型コロナウイルス感染症で影響を受けている飲食事業者などの積極的起用について市の考えを問う。

2 本市の観光大使の選定について

- (1) 現在の市の方針について問う。
- (2) 本市を全国へPRするために本市出身芸能人との関係構築と連携強化をすべきと思うが市の考えは。

3 本市ホームページの活用について

- (1) カテゴリーごとの専門サイトを作ること、情報の整理や利便性の強化、情報発信の質の向上が可能となると考えられるが、現在の本市ホームページの方針について問う。
- (2) 本市ホームページを活用し、市内施設や新型コロナワクチン接種などのデジタル予約システムの導入をすべきと思うが市の考えは。

4 京田辺市北部の道路網について

- (1) 都市計画道路松井大住線4車線化の現在の進捗について問う。
- (2) 都市計画道路松井大住線4車線化実現に向けた今後のスケジュールについて問う。

1 新型コロナワクチン接種事業について

- (1) 市のワクチン接種事業に対する市民の声への対応状況について問う。
- (2) 現在のワクチン接種状況について問う。
- (3) 接種を希望する高齢者のワクチン接種完了時期について問う。
- (4) ワクチン確保の状況と見通しについて問う。
- (5) 64歳以下のワクチン接種に向けた予約システムや体制について問う。
- (6) 大規模接種会場や市内医療機関など、ワクチン接種場所の拡大が進む中、本市予約システムとの連携について問う。
- (7) 日々のワクチン余剰分の接種者リストについて問う。

2 農業振興について

- (1) 耕作放棄地対策について問う。
- (2) 市内農作物の地産地消と地消地産の取り組みについて問う。

3 地域猫活動について

地域猫の避妊・去勢手術費用の助成を実施すべき。

4 学校施設長寿命化計画について

- (1) 田辺小学校改修に伴い、今後のプールのあり方について問う。
- (2) 同校の給食室のあり方について問う。
- (3) ゼロカーボンに向けた取り組みに基づき、学校施設への太陽光パネル設置の可能性について問う。

5 ふるさと納税について

- (1) ガバメントクラウドファンディングの活用について問う。
- (2) ツアー・オブ・ジャパン（TOJ）のふるさと納税利用について問う。

1 新型コロナウイルス感染症に関する対策について

- (1) 新型コロナウイルス感染症に関するあらゆる差別から市民を守るために差別禁止条例の制定を求める。
- (2) 幼稚園、保育所、認定こども園や小・中学校でも、昨年同様マスクをつけて夏を過ごす可能性が高いが、熱中症対策の現状での取り組みと今後の考えは。
- (3) マスクについては、効果とリスクを踏まえてガイドラインや対応を見直す必要があり、熱中症対策のさらなる充実を求める。

2 コロナ後に魅力ある学校づくりを目指して

密が避けられる屋外であること、土に触れることで免疫力が上げられること、生きた食育につながることなど、エディブル・スクールヤード（学校食育菜園）の実践は、コロナ後に魅力ある学校づくりとして最適だと考え提案するが、市の考えは。

3 子ども・若者支援について

- (1) 子どもや若者への支援の必要性について、市はどのように考えているか。
- (2) 子ども・若者育成支援推進法で、努力義務とされている「子ども・若者計画」を作成し庁内、関係機関が一体となり、一人ひとりに寄り添った支援を。

1 今後想定されるリスクとその対応について

巨大地震や近年の異常気象、疫病など外的リスクを始め将来的な人口減少・少子高齢化、持続可能な行財政運営など本市におけるリスクマネジメントについて問う。

2 京田辺市行政改革実行計画について

- (1) 昨年度からスタートした行政改革実行計画の前期 4 か年の計画期間の進行管理状況を問う。
- (2) 行政改革実行計画の策定段階には想定しえなかった事態が昨年発生したことで、財政シミュレーションには累積赤字の増加が懸念される。「効率的な行財政運営」推進のためには、これまで以上に積極的な財政健全化策が必要と考えられるが市の認識を問う。
- (3) 特に財源の確保の観点では、京都府における学研都市南田辺地区などの事業化が具体化しつつある中で、これまで以上に市が主体となった産業立地施策推進が重要と考えるが市の認識を問う。

3 新型コロナウイルス感染症対応について

昨年 3 月末に本市で初めて感染が確認されて以来一年余が経過し、これまで市民に向けた感染防止策やワクチン接種、経済対策など数多くの取り組みが進められてきた。この間の検証と今後の見通しを問う。

1 女性施策について

コロナ禍で女性の貧困が深刻さを増す中、「生理の貧困」が社会問題化している。全国の自治体では、更新時期を迎える防災備蓄品の生理用品を無料配布するなど迅速な取り組みが実施されている。こうした自治体の動きを受け、国が交付金の対象に生理用品の無料配布も加える措置を講じた。ジェンダー平等の観点からも京田辺市においての取り組みと考えを問う。

- (1) 更新時期を迎える防災備蓄品の活用等も含め、生活が困窮する方への無料配布、公共施設の窓口への配置を。
- (2) 市民団体が行う食料支援活動等でも生理用品の無料配布ができるよう支援を。
- (3) 市立小・中学校においても、保健室での提供だけでなく、女子トイレに生理用品の配置を。

2 新型コロナワクチン接種における障がい者、高齢者への適切な対応について

- (1) 相談体制の確保や情報周知についての取り組みを。
- (2) 接種時等における障害特性を考慮した対応を。
- (3) 公的な福祉サービスによる支援（居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援、遠隔手話サービスを含めた意思疎通支援事業等）が円滑・柔軟に受けられるような配慮を。

<p>1 ゼロカーボンシティに向けた取り組みについて問う</p>
<p>(1) ゼロカーボンシティに向けた取り組みについて</p> <p>ア 民間施設への太陽光発電施設設置に向けた方向性について問う。</p> <p>イ 公共施設への太陽光発電施設設置に向けた方向性について問う。</p> <p>ウ 森林育成による二酸化炭素吸収の取り組みの方向性について問う。</p>
<p>2 再生可能エネルギー施設（太陽光発電施設）の設置に係る設置者への対応について問う</p>
<p>(1) 市内への再生可能エネルギー施設（太陽光発電施設）の設置に係る対応状況について問う。（建築基準法に係るものを除く）</p> <p>ア 現行の条例等による設置者に対する規制・指導について問う。</p> <p>イ 市民の生命や財産の守るとともに、良好な自然環境等を保全するためのさらなる取り組みが必要ではないか。</p>
<p>3 近鉄興戸駅西側の排水困難な状況の解消と駅前整備について問う</p>
<p>(1) 排水困難の解消に向けた本年度の取り組み状況について問う。</p> <p>(2) 駅前整備に向けた取り組み状況について</p> <p>ア 整備基本計画の考え方について問う。</p> <p>イ JRの踏切拡幅に向けた取り組み状況について問う。</p> <p>ウ 廃川敷の土砂搬出の考え方について問う。</p>
<p>4 本市における法定外公共物の取り扱いについて問う</p>
<p>(1) 本市所有の法定外公共物の種別と量はどれほどのものか。（里道）</p>

- (2) 本市所有の法定外公共物の財産管理、機能管理はどのように行っているか。
- (3) 機能を失った法定外公共物の把握方法とその後の取り扱いをどのように行っているか。
- (4) 市ホームページ等での法定外公共物についての情報提示や所在を閲覧できる仕組みが必要ではないか。

1 新型コロナウイルス感染対策について

- (1) ワクチン接種申込時の市の不手際によるパニック状態をどのように考え、今後64歳以下の接種などにどのように活かすのか。
- (2) 緊急時の指揮命令系統を明確にすべきだ。
- (3) 消防職員やヘルパー、保育士など、市民に直接かかわる職員のワクチン接種計画を立てるべきだ。また、教員については、京都府教育委員会に早期接種を要望すべきだ。

2 教育現場における新型コロナウイルス感染問題について

- (1) 市内教育現場における感染状況と対応について問う。
- (2) 学校現場における感染予防対策と子どもの成長に与える影響をどのように考えているのか。
- (3) コロナ禍におけるいじめ不登校の状況と対策を徹底せよ。

3 ヤングケアラーと夜間中学について

- (1) ヤングケアラーの実態と教育長の認識を問う。
- (2) ヤングケアラー対策として、実態の調査を早急に実施し、コーディネーターを配置したり教育支援や条例策定を行うべきだ。
- (3) 夜間中学はヤングケアラー支援にも重要だ。早期の設置を求める。